

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025 年 11月 14日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科	工学研究科
職 名・学 年	助教
氏 名	田崎 拓海

助 成 の 種 類	令和7年度 ・ 国際研究集会発表助成		
研 究 集 会 名	APAC2025 (International Conference on Asian and Pacific Coasts 2025)		
発 表 形 式	☐ 招 待 ・ ☒ 口 頭 ・ ☐ ポスター ・ ☐ その他(		
発 表 題 目	Resolved DEM-MPS simulation of sediment incipient motions under shallow wave		
開 催 場 所	釜山, 韓国		
渡 航 期 間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 8日		
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度で作成し、添付して下さい。 「成果の概要」以外に添付する資料 ☒ 無 ☐ 有()		
会 計 報 告	交付を受けた助成金額	100,000 円	
	使用した助成金額	100,000 円	
	返納すべき助成金額	0 円	
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金額(円)
		航空運賃	39,650
		宿泊費	35,350
		滞在費	25,000
		学会参加費	
	その他		
以上に助成金を充当			
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) この度は国際学会への参加に助成いただき、ありがとうございました。貴財団の助成のおかげで研究成果公表や研究交流を行うことができました。今後も貴財団が本助成事業を継続されることを切に願います。私の今回の渡航地だと、旅費規程の改訂もあり、4日分の宿泊費と日当のみで頂戴した助成金額を超過します(学会参加の総額は助成金額の2.5倍程度でした)。他の助成金との合算を前提としない、国際学会への参加に係るすべての費用を負担できるようなプランが新設されると、特に、学生にとって申請しやすい助成事業になると感じました。		

成果の概要 / 田崎 拓海

国際学会の概要

APAC (International Conference on Asian and Pacific Coasts)は2001年から隔年で開催される、アジア・環太平洋における海岸工学に関する国際学会である(2021年は新型コロナウイルスの流行により延期)。12回目となる2025年は韓国・釜山のParadise Hotel Busanで11月5日～11月7日の3日間開催された(11月4日はRegistration)。日本・韓国・中国を中心にアジアにおける主要な大学・研究施設・企業から多くの研究者・学生が集まり、3日間の25セッション+ポスターセッションで発表・議論を行った。

発表の概要

発表題目： Resolved DEM-MPS simulation of sediment incipient motions
under shallow wave

著者： ○田崎 拓海, 原田 英治, 後藤 仁志 (○：発表者)

発表内容：

波浪により海底と上部の間で生じる浸透・滲出流は海底の土砂(底質)の輸送においても重要な役割を果たすと考えられているが、海底の土砂内部の間隙流の計測が困難なため、限定的な理解にとどまっていた。本研究では、粒子法を用いたresolved simulationを実施し、海底の透水性が土砂輸送過程に与える影響を検討した。海底砂スケールの詳細解析から、浸透流に伴う土砂下部の圧力増加が土砂輸送に寄与することを示し、透水性海底において、非透水の海底よりも土砂が輸送されやすいことを明らかにした。

研究へのフィードバック：

アジアの海岸工学における昨今の研究動向を知ることができた。複雑な問題へのアプリケーションが進む一方で、基礎的な力学的研究を行う研究者が少ない状況は国内と同様であった。

交流・ネットワーク構築

会期前日を含む4日間のうち、3日で参加者間の交流を促すイベントが開催され、普段の国内の学会では話すことが少ない研究者と研究に関する雑談を楽しむことができました。個々の研究テーマよりも、分野自体の動向や将来的な課題やニーズについて経験豊富な研究者方からご教示いただくことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。海外で開催される国際学会への参加は初めてでしたが、APACへは前回(2023年)の京都開催に続き2度目の参加で精神的な余裕があったためか、学会セッション以外の時間をうまく自身の広義の研究活動につなげることができたと思います。